

産科病棟における保健サービスと情報提供に関する一考察 — 廊下にある掲示板的工夫をして —

小野清美, 奥田博之, 松井たみこ¹⁾

要 約

病棟における情報提供の一つとして掲示板は手軽に利用されるが, これに関する研究はないといっても過言ではない。しかし, 日本医療機能評価機構 (Japan Council for Quality Health Care) においては自己評価票の項目として「掲示物の配慮」について評価するようになっている。そこで, O大学附属病院産科病棟の廊下にある掲示板を使用し, 掲示板周辺の色調の視感測定と照度測定を実施し後, 掲示物の内容の整理をし, その美観について整理前後の評価をSD法 (Semantic Differential Method) で評価しその結果, 整理後は好転していた。さらに, 掲示物への意見の調査, 希望する掲示内容に関する調査なども実施した。これらのことから掲示板の有効活用の仕方と情報提供の内容の選別の2点が明確化した。それぞれの留意点は以下のとおりである。

〈有効活用について〉

1. 掲示物の重要度と緊急性に応じた貼り方をする。
2. 文字や絵の大きさにより, 掲示板の有効活用をする。

〈情報提供の内容の選別について〉

1. 産科領域の患者教育および健康教育などの提供の必要性がある。
2. 掲示物の内容は患者本人に必要なことか, 家族にも必要なことなのか, 対象者の明確化をして貼付する必要がある。
3. 一般ニュースの提供や絵や写真などの癒しの必要性もある。

キーワード: 情報提供, サービス, 産科病棟

緒 言

掲示板は辞書によれば「人の目につく所に広く知らせるべき伝言事項などを掲げ示すこと」と言われている。病棟における情報提供の一つとして掲示板は手軽に利用されているが, これに関する研究はないといっても過言ではない。しかし, 掲示板はその時に必要な内容を情報提供できる場であり, 保健サービスの一つでもある。また, 日本医療機能評価機構 (Japan Council for Quality Health Care) においては自己評価票の項目として「掲示物の配慮」について評価するようになっている¹⁾。ゆえに, 病棟を管理する看護職は掲示板を有効に活用し, 対象者によりよい情報を提供することは大切であるが, それには掲示物の工夫や配慮などをしながら情報を

提供していく必要がある。そこで, 掲示物の内容整理および周辺の色調と照度などの測定, 情報提供に関する患者の意見などから掲示板の利用により, 病棟で行える情報提供について検討したので報告したい。

研究期間と対象

- 1) 研究期間は2002年9月25日~2002年11月末日まで。
- 2) 研究対象者は, 掲示板を見る病棟に入院した者およびその家族とする。また, 対象場所はO大学附属病院産科病棟の廊下にある掲示板とする。本病棟はベット総数は22床, 1か月の分娩件数は20件で, 産科的な疾患を持って入院している

岡山大学医学部保健学科看護学専攻

1) 岡山大学医学部・歯学部附属病院

者も多く、平均在院日数は16.5日である。

研究方法

- 1) 掲示板および掲示物、廊下周辺の色彩の視感測定を実施する。視感測定は社団法人の日本塗料工業会「2001年A版塗料用標準色見本帳（ポケット版）」、照度測定は「TOPCON IM-3」の照度計を使用する。
- 2) 掲示板に貼ってあるポスターやビラを整理し、色台紙を使用し掲示物の整理をする。
- 3) 掲示物の整理の実施前と後にSD法（Semantic Differential Method）による評価を実施する²⁾。
- 4) 掲示物の整理の実施前および後に、5項目の自由記載の掲示板への意見の調査を実施する。また、掲示板に希望する内容を調査する。

研究結果

産科病棟の廊下の中央部に3m×120cmの掲示板がある。その周辺の色彩環境の壁は5R 9/2および天井はN9、廊下の床は10YR 8.5/1.5の状況に掲示板はある。調査以前は掲示板に33枚のポスターや案内のビラが所狭しと貼ってあった。これらのポスターや案内のビラの色彩は表1のとおりであり、これらを表示する掲示板は廊下の壁にある。33枚の中で期限切れのポスター・不要のビラ・綺麗に書き直したビラなどを整理し、台紙をつけ掲示板に貼り替えたものが、図1である。この掲示物の整理には5名で4時間半要した。

掲示物を表示するために、掲示板周辺の照度を50cmごとに7か所計測した結果、215lx→284lx→311lx→272lx→173.4lx→102.6lx→62lx というように、光源に近い場所は311lxと高数値を示したが、次第に左側に行くほど低値となっていた。ちなみに、廊下の中央に光源があるが、その直下では62lxであった（表2）。

掲示物はすべて空白部分を切り取り、台紙の上に貼ったが、その台紙の色彩は5G 5/10（緑系）、5GY 8/4（黄緑系）、5Y 8.5/3（黄系）とし、右→左へとコンプレックス配色（色相の自然連鎖 Natural Sequence of Hues という日向と日陰における明るさと色あいの変化と同じ色彩調和をすることとは逆の関係で配色するもので、不自然な配色であるが、新鮮なイメージを与える配色のことをいう³⁾。）をさせた。そして、33枚あったポスターやビラを19枚の台紙に整理し、提示した。

掲示板の改善についての評価を入院患者対象に同

表1 掲示板の内容

内 容	色 彩	大きさ	素材
助産院の相談場所の紹介	N9.5	B 5	紙
乳房マッサージのお知らせ	5Y 8.5/3	A 4	紙
	10GY 8/2		
〇病院のダイヤル電話番号	N9	A 4	紙
妊娠糖尿病の検査の受診の進め	5R 9.2/1	28×37	紙
入院者への注意	10B8/4	A 3	紙
	10YR 7.5/6		
	7.5YR 7/6		
避難経路	10Y 8.5/8	B 4	紙
	N9		
訪問看護サービスのポスター	N9.5	A 4	紙
施設紹介	5GY 9.2/1	A 4	紙
	5GY 8/4		
乳児健診のお知らせ	5YR 9.2/1	A 4	紙
	7.5R 5/12		
臓器提供意思表示カードの紹介	5Y 9/1	A 4	紙
薬の窓口の紹介	N9	A 3	紙
喫煙と薬の注意および病気についての紹介	7.5Y 9/1	A 3	紙
	7.5Y 8.5/4		
(中国語版) 母子健康手帳の紹介	5G 8/2	A 4	紙
	5BG 5/8		
	10Y 9/4		
(英語版) 母子健康手帳の紹介	2.5Y 8/1.5	A 4	紙
	10Y 8.5/8		
胎児のイラスト	5GY 9/1	A 1	紙
出産費用サポート	10Y 8.5/2	A 3	紙
〇病院工事のお知らせ	N9	A 4	紙
子供の虐待のポスター	5Y 8.5/3	A 4	紙
	5PB 9/1		
助産婦の紹介	7.5YR 9/2	B 5	紙
子育ての悩みを話して見ませんかのポスター	5GY 7/12	A 4	紙
貴重品預かり	N9	A 4	紙
付き添い寝具の貸し出し料金	N9	B 4	紙
犬の日カレンダー	7.5Y 8.5/4	A 4	紙
	N9		
予定献立表	N9	B 4	紙
診療点数	N9	A 3	紙
車椅子利用上の注意	N9	B 4	紙
紙風船	N9	A 4	紙
	5R 4/12		
	10G 7/14		
小冊子	10B 6/4	18×12.5	紙
ベビーリースカタログ	10YR 7.5/2	B 5	紙

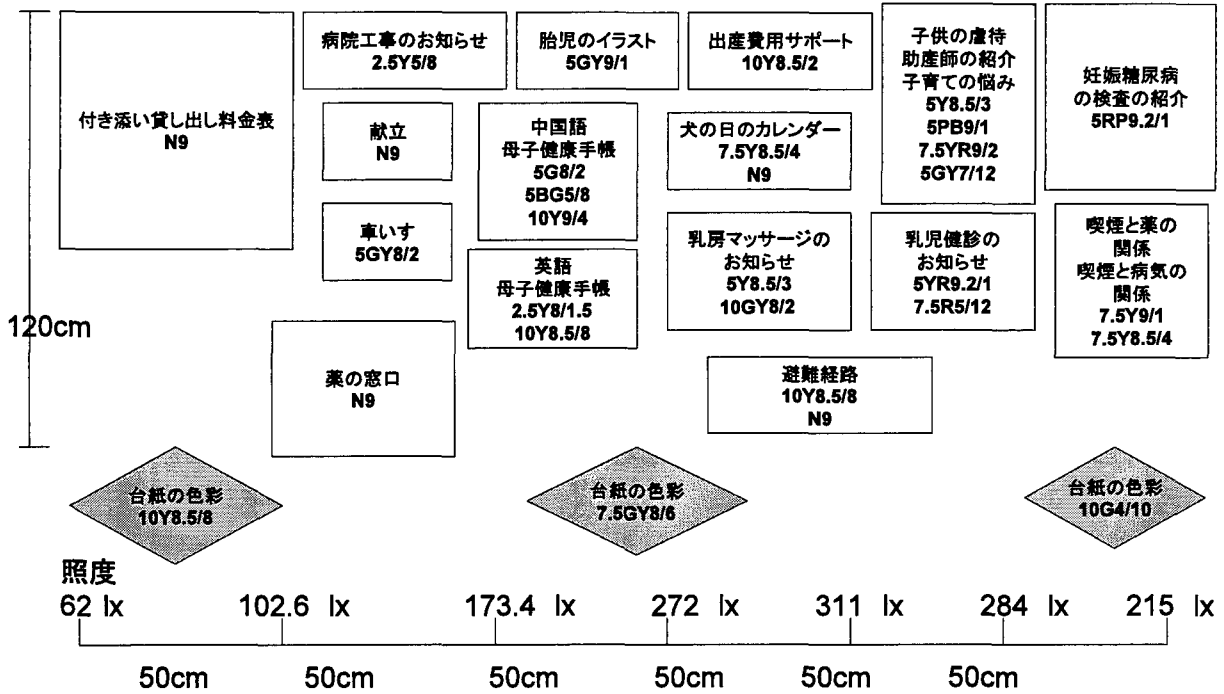
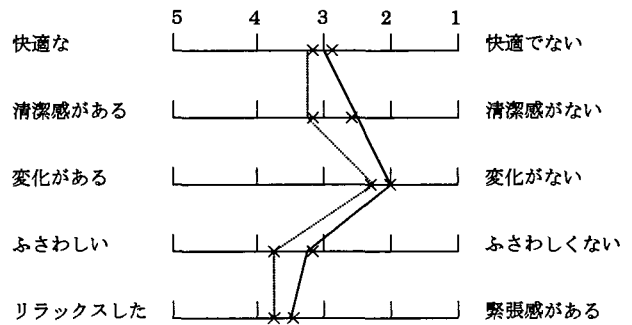


図1 掲示板のポスターの配置替えをした位置関係

表2 掲示板のある廊下の照度・色彩

昼白色 40Wの蛍光灯が2本ついている。 廊下の光源直下の照度 62lx	
	色彩 (マンセル値)
天井	N9
廊下の壁	N9 2.5R 9/2 (手すりの色彩)
廊下の床	10YR 8.8/1.5



意を得た者15名に、実施前と実施後にSD法を用いて5段階評価を実施した。病棟環境としては「快適性」「清潔感」「変化」「ふさわしさ」「リラックス」などの5項目を質問したが、その平均得点は、実施前は2.86、実施後は3.10であり、5項目のすべての項目について実施前より実施後の方が得点は高かった。そして、「ふさわしい」3.90、「リラックス」3.80と高得点であった。また、病棟環境の色彩環境についても「薄さ」「温度感」「落ち着き」「柔軟性」「穏やかさ」「派手さ」などの5項目を質問したが、その平均得点は、実施前は3.20、実施後は3.78であり、5項目のすべての項目について実施前より実施後の方が得点は高かった。特に、「薄い」4.10、「落ち着いた」3.81、「穏やか」3.92と高得点であった。(図2・3)

さらに、掲示板の意見についての調査では15名からの回答が得られた。質問内容は実施前と後に5項

図2 病室環境の実施前後の状況

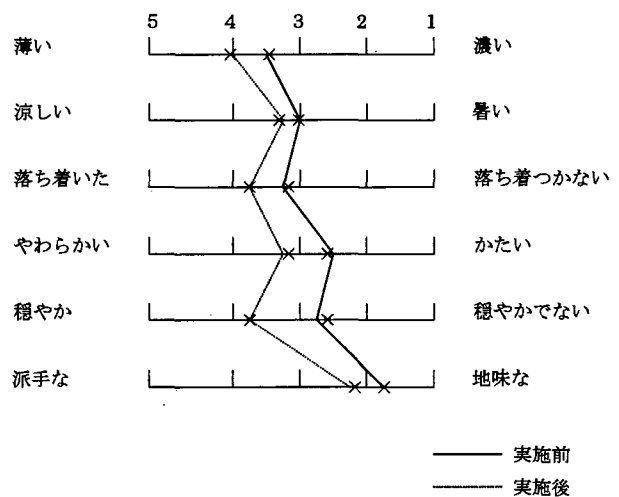


図3 病室環境の色彩環境の実施前後の状況

表3 掲示板についての自由記載のアンケート調査結果

		実施前の回答内容		実施後の回答内容	
Q 1	掲示板を見る頻度	時々見る	5名	時々見る	10名
		あまり見ない	8名	あまり見ない	5名
		見ない	2名		
Q 2	貼っている内容の閲覧	自分に関係しているときに見る	7名	家族が見た方がいいものがあることに気づいた	4名
		入院当初はよく見ていた	5名	変わったものがあるのか確認した	4名
		内容は知らない	3名	目に留めるようになった	3名
Q 3	掲示板は見やすいか	あまり考えたことがない	8名	見やすくなった	8名
		ごちゃごちゃして見にくい	5名	明かりが暗いと思った	3名
		重なって見えない	2名	字が小さいので見にくい	4名
Q 4	どのような掲示内容にして欲しいか (複数回答)	大学病院らしい専門知識の情報提供をして欲しい	9名	大学病院らしい専門知識の情報提供をして欲しい	6名
		入院患者にとって有用な情報提供をして欲しい	9名	重要なこととそうでない情報を区別して欲しい	5名
		内容に変化をつけて欲しい	5名	内容が変化すればいいと思った	5名
		タイトルを分かりやすくして欲しい	3名	飾りがあってもよいと思う	3名
		字を大きく見やすくして欲しい	3名	字を大きく見やすくして欲しい	3名
		週ごとに変わった内容にして欲しい	3名	掲示板の前にもものが置かれることがあった	3名
		かわいらしい表示方法をして欲しい	2名	緊張性のあることとそうでないものを区別して欲しい	3名
		重要なことと知識の情報とを区別して欲しい	2名	かわいらしいキャラクターが欲しい	3名
		綺麗に貼って欲しい	1名		
Q 5	周囲の環境にマッチしているか (複数回答)	雰囲気にあっているもの	5名	赤ちゃんの絵や写真が欲しい	3名
		違和感のないものであればよいと思う	5名	素通りしない工夫が必要だと思う	1名
		環境にマッチしなくてもよい	3名		
		明るい感じであればよいと思う	3名		
		深く考えたことがない	2名		

目質問した。その結果は表3のとおりであり、掲示板を見る頻度については、実施前は「あまり見ない」8名、「時々見る」5名であったが、実施後は時々見るが10名と増えていた。貼ってある内容の閲覧では実施前は「自分に関係しているときに見る」7名、「入院当初はよく見ていた」5名、「知らない」3名であったが、実施後は「家族が見た方がいいものがあることに気づいた」4名、「変わったものがあるか確認した」4名、「目に留めるようになった」3名の順であった。掲示板は見やすいかについては、実施前は「あまり考えたことがない」8名、「ごちゃ

ごちゃして見にくい」5名、「重なって見えない」2名であったが、実施後は「見やすくなった」8名、「明かりが暗いと思った」3名、「字が小さいので見にくい」4名であった。どのような掲示板にして欲しいかは、実施前は「大学病院らしい専門知識の情報提供をして欲しい (以下、大学情報と略記)」9名、「入院患者にとって有用な情報提供をして欲しい」9名、「内容に変化をつけて欲しい (以下、内容の変化と略記)」5名などの順であったが、実施後は「大学情報」6名、「重要なこととそうでない情報を区別して欲しい」5名、「内容の変化」5

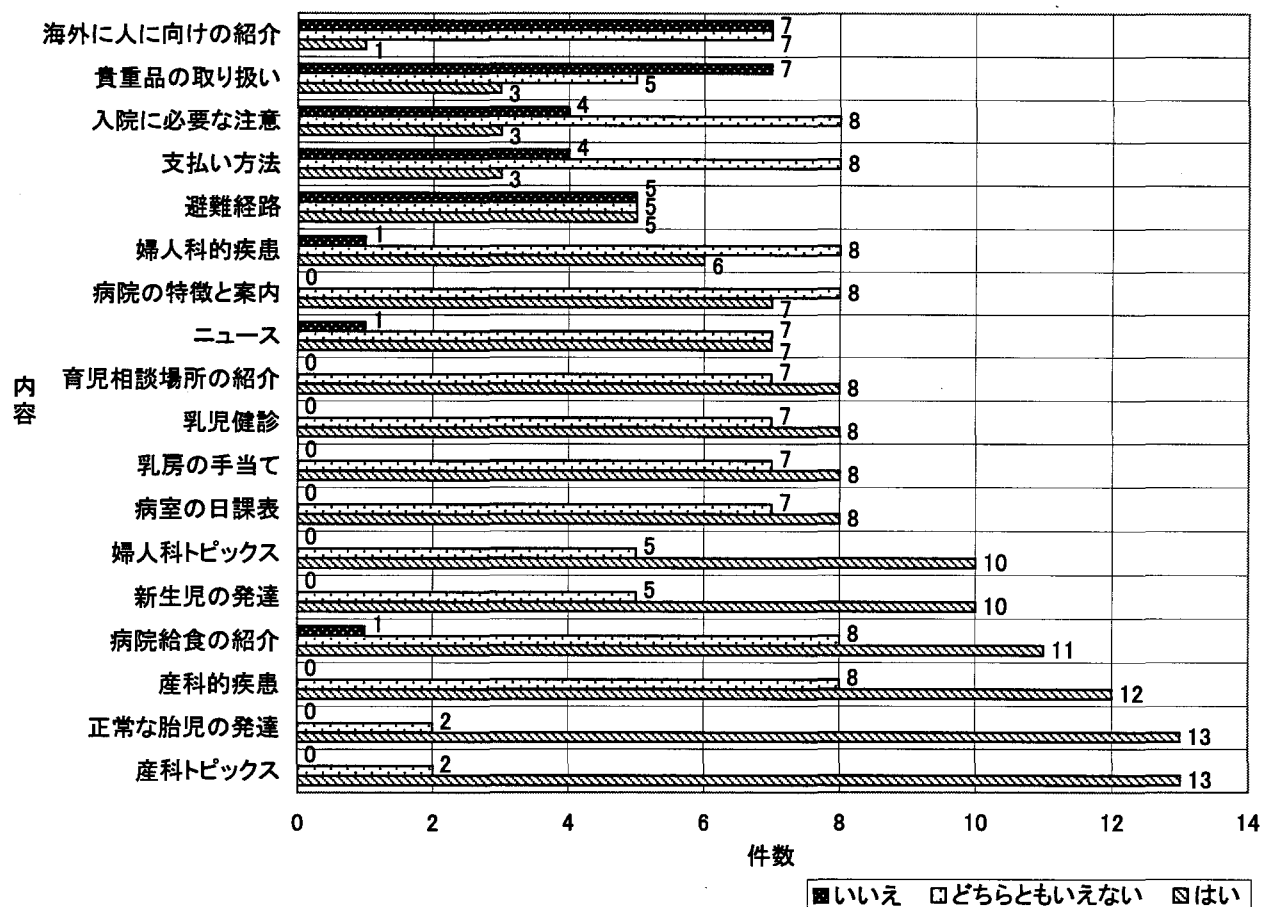


図4 掲示板への希望内容 N=15

名の順であった。周囲の環境にマッチしているかについては、実施前は「雰囲気にあっているもの」5名、「違和感のないものであればよいと思う」5名、「環境にマッチしなくてもよい」3名などの順であったが、実施後は「赤ちゃんの絵や写真が欲しい」3名、「素通りしない工夫が必要だと思う」1名の順であった。(表3)

掲示板への希望内容について実施後にアンケート調査した結果、「産科トピックス」「正常な胎児の発達」「産科的疾患」「正常な新生児の発達」「婦人科トピックス」などが、10人以上の者から要望されていた(図4)。

考 察

廊下の掲示板は通常、入院生活に必要なことが掲示されるが、あまり見ない者が8名と半数以上のものが見ていなかったが、掲示物の整理をした後は10名と増加していた。本研究では掲示板の有効活用の仕方については6つの留意点をもって実行した。

- 1) 情報内容の重要度や緊急性に応じ内容の位置を定める。

- 2) 照度に応じて掲示物を提示していく。
- 3) 掲示物の色彩に応じ、台紙の色彩計画を立案・実行・評価する。
- 4) 高さに応じて文字の大きさを定める。
- 5) 掲示物の大小のバランスを考え提示していく。
- 6) 自室への持ち出しができる掲示物はそれを明示する。

実施後は掲示物の内容については「家族が見た方がいいものがあることに気づいた」「変わったものがあるのか確認した」というような意見が見られた。しかし、よく見たいと思った時には「明かりが暗いと思った」「字が小さいので見にくい」などのような問題も書かれていた。つまり、掲示物が重なり乱雑に貼っている場合には掲示板は見えないが、整理すると見る者も増えると同時に、内容にも気づくようになっていた。次いで「よく見たい要求」が生まれてくると、照明や文字や絵の大きさなどの表現の問題が発生することがわかった。今回の掲示板の周辺照度は最低62lxから最高311lxと幅があるが、やや暗い状況であった。通常、文字の読み書きができる事務作業をする場合の照度は500lxぐらいが好ま

しいと言われていることから考えると、この掲示板に掲示してよいと考える場所は、照度の関係で長さ3m×120cmの広さがあっても、250lx以上の場所は2m×120cmの面積と考えると、それ以外の場所は利用しない方がよかったのだろう。しかし、今回は整理をしても病棟の必要と考える内容が多く提示しなければならなかったことから、62lxという随分暗い場所まで掲示しなければならなかった。だが、掲示内容は全患者に向かって紹介するのではなく、一部の人たち（付き添う貸し出し料金表）に必要な情報提供の内容を暗い場所に貼った。しかし、廊下の照明が十分ではない場合には、掲示板にライトの付くものを用意する必要性を感じた。

掲示内容への希望を質問すると、「大学病院らしい情報提供をして欲しい」「入院生活に有用な情報提供をして欲しい」「重要なこととそうでない情報提供を区別して欲しい」などのように情報内容にも関心を示していた。また、環境との調和については「雰囲気にあうもの」「赤ちゃんの絵や写真」などを望み、具体的な情報提供の内容としては「産科的トピックス」「正常な胎児の発達」「産科的疾患」などのように、産科領域に関することを望んでいた。褥婦に向けては「新生児の発達」や「乳房の手当て」、退院後に必要な「乳児健診」や「育児相談場所」などの内容も望んでいた。産科的疾患やお産での入院とで情報提供を要望している内容は異なるが、いずれにしても自分に関連した疾病や情報を望んでいることが分かった。つまり、掲示板は療養生活にプラスになる産科的な専門知識を与え、入院生活の不安の解消や心の豊かさへの健康教育の一つとして十分活用していけば、保健サービスの一端を担えると考えるので、今後大いに工夫および改善していくべきだろう。

掲示物の貼り方は「雰囲気に合うものがよい」と答えていたが、それは当然なことである。しかし、赤ちゃんの絵や写真を好んで貼って欲しいと望んでいたことは意外であった。というのは通常小室克夫によれば、病院では自然な光景が見せられない時の代わりに水や風景のような自然物や自然の光景の絵画・写真・壁画などを見せることが重要となり、人物をテーマに求めないからである⁴⁾。ところが本研究では「赤ちゃん」の絵や写真を望んでいた。これは産科病棟では、お産の場合には明るく祝福の空気が漂い入院日数も6～10日と短いし、病人とは異なり自然物や自然の光景の絵画・写真・壁画などを見せることが、それほど必要ないからだろう。一方、

本大学病院では在院日数が90日と長い者もいるが、自然な光景や風景を好んでいる者はいなかった。これは産科病棟の特徴であるのかどうかは今後検討していく必要があるだろう。

入院生活をしていると社会との関係が疎遠になることからニュースの要望が高いと考えていたが、これについては45.5%と意外に少なかった。しかし、内容に変化をつけて欲しいという意見もあることから考えると、ニュースなども公表していくことは重要だろう。

結 論

掲示板は病院のみならず、どこにでもある情報提供の方法の一つであるが、意外にこの検証はされていない。

本研究で分かったことは、第1は掲示板の有効活用の仕方、第2は情報提供の内容の選別などの2点である。各内容についてのまとめは以下のとおりである。

〈掲示板的有効活用の仕方〉

- 1) 掲示板的の大きさにより、掲示物の有効面積を確認していくこと。
- 2) 掲示板近辺の照度に応じ、掲示物の内容を考慮すること。
- 3) 掲示物の重要性や緊急性に応じて貼り、場合によっては緊急度の表現をデザインすること。
- 4) 掲示物の周辺環境との色彩調和を図ること。
- 5) 掲示物の文字や図の大きさにより、貼る位置を設定すること。
- 6) 掲示板の前にはものを置かないこと。

〈情報提供の内容の選別〉

- 1) 患者本人・家族など対象者を明確にすること。
- 2) 産科領域の患者教育、健康教育内容を提供すること。
- 3) 一般的なニュースの提供をすること。
- 4) 文字ばかりでなく絵や写真も時には癒し効果も必要なこと。

病棟の中で手軽に情報提供できる掲示板的の有効活用は保健サービスの一端である。これは医師および看護職が一体となり、よい情報提供をしていく上に欠かせない方法でもある。それだけに効果的な利用をさせるための工夫と改善は必要である。そのためにはまず看護職自身が掲示板に興味を持つことから始まると考える。その上で、情報内容と方法展開への吟味を行った後に施行へと発展させていくことだろう。それには病棟の特徴、病棟環境、病院の特殊

性などを包含した総合的な情報提供のあり方を、今後学習し産科病棟の情報提供をしていくことが、大切になるだろう。

謝 辞

本研究に御協力くださいました本学保健学科看護学専攻の今井綾子，幸崎若菜，小林美貴子，後藤由佳，滝田万葉さんなどの学生の皆様に厚く御礼を申し上げます。

文 献

- 1) 財団法人 日本医療機能評価機構：Internet <URL: http://www.jcqh.or.jp/html/new_syoukoumoku.htm, 書面審査 自己評価調査票, p11>, August 2003.
- 2) D.F. ポート, B.P. ハングラー・近藤潤子訳：看護研究・原理と方法, (194-197), 医学書院, 東京, 2000版 (第7版).
- 3) ADEC 色彩士検定委員会：Color Master, (9), 全国美術デザイン教育振興会 (ADEC), 東京, 2000版 (第2版).
- 4) 小室克夫：患者利便設備・機器の安全対策, 病院設備, Vol 40. No 5. (462), 1998.

Provision of information and health care in a maternity ward: More effective use of corridor notice boards

Kiyomi ONO, Hiroyuki OKUDA and Tamiko MATSUI¹⁾

Abstract

Although bulletin boards in hospitals are considered a readily accessible means of information sharing, there are virtually no studies available on this subject. However, as a self-assessment survey of the Japan Council for Quality Health Care includes a rating of "attention given to posted materials" as one of its items, we thus conducted a study focused on the bulletin board situated in the corridor of O University Hospital's maternity ward. After measuring color visibility and lighting intensity around the board, we reorganized the layout of posted materials; after which we evaluated the appearance of the board using the Semantic Differential Method. The results were positive; and in addition, we conducted other surveys intended to obtain comments and requests. As a result of such efforts, we came up with two criteria to consider when designing a bulletin board; namely, on how to use bulletin boards effectively and on classifying the type of announcement.

<On the Effective Use of Bulletin Boards>

1. Arrange display materials according to importance and urgency levels
2. Use font sizes and drawings as eye-catching means

<On the Classification of the Type of Announcement>

1. There is a need to provide patient education and health information related to the field of obstetrics.
2. There is a need to clearly identify the targets, i.e. whether the posted materials are intended for the patients and/or for family members.
3. There is also a need to provide general news or to post drawings and pictures for the purpose of comforting patients.

Key Words : information service, health care, maternity ward

Department of Nursing, Faculty of Health Sciences, Okayama University Medical School

1) Okayama University Hospital